

考えてみませんか？ NISAで資産形成

将来の資産形成には、
おトクな「NISA」がおススメです



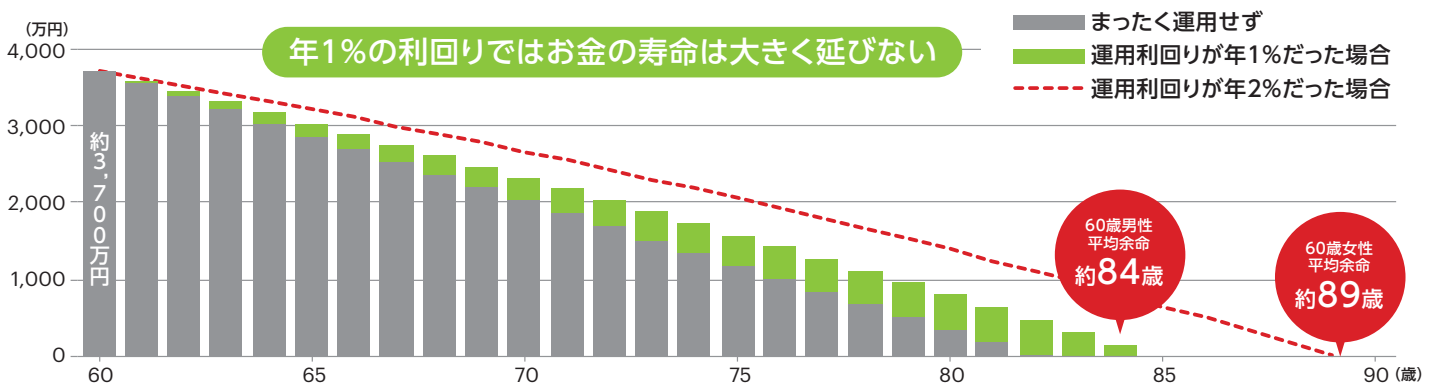
物価もどんどん上がっていくし、人生100年時代で先は長い…

私たちの将来、大丈夫？
何もしないとどうなるの？



定年後、退職金や貯蓄を取り崩しても、**約20年でお金は尽きてしまう**ことに。
人生100年時代、ある程度の利回りを確保して、**お金の寿命を延ばしていくことが重要**です。

【退職前の平均貯蓄額と退職金の合計約3,700万円を毎月14万円(ゆとりあるセカンドライフを送る費用)取り崩した場合】(イメージ図)



※本イメージ図は60歳から各利回りで複利運用したと仮定した場合の試算を示したものであり、特定の商品の運用成果を保証または示唆するものではありません。価格変動する商品を運用する場合、利回りがマイナスになるリスクがあります。

低金利が続く現在、預金金利だけで将来に備えるのは難しい…

だから 投資の検討も必要！

NISAを活用してみませんか？



NISAとは、投資から得た利益が非課税になる、税制優遇制度です！

例えば 100万円の運用益が出た場合、

約20万円おトク^(*)!

(*)元本払戻金(特別分配金)は、NISA制度に関わらず非課税であり、NISA制度のメリットを享受できません。

通常の投資用口座
(一般口座・特定口座)

税率 **20.315%**

税金 約20万円

受取利益
約80万円

受取利益
100万円

NISA口座なら

運用益は
全て非課税!

税率 **0%**

NISA制度 3つのポイント

- 2つの投資枠 **つみたて投資枠** と **成長投資枠** は併用可能
- NISA制度期間および非課税期間は **無期限**
- 非課税保有限度額(総枠)は **1,800万円** (内、成長投資枠の上限は1,200万円)

2024年1月から、
NISAは
より魅力的な制度に
なりました!

NISA	
勘定の呼称	つみたて投資枠 ← 1 併用可能 → 成長投資枠
制度期間・非課税期間	2 無期限
年間の投資上限額	120万円 240万円
非課税保有限度額(総枠)	3 合計、1,800万円以内 成長投資枠は1,200万円以内
購入方法	つみたて投資 一括投資・つみたて投資
対象ファンド	つみたて投資枠対象ファンド (株式投資信託) 当行で取り扱う株式投資信託 ^(*) のうち一定条件を満たすもの ^(**)

(*)金融商品仲介では、上場株式の取り扱いもあります(インターネット、電話などを通じたお取引のみ)。

(**)次のすべての条件を満たすものが対象となります。

①信託期間が20年以上または無期限であること ②一定のデリバティブ取引が用いられていないこと ③毎月分配型でないこと

お客さまのご意向にあわせた運用スタイルが選べます

商品ラインアップは
P.4・5へ

つみたて投資枠 長期的なつみたて投資に特化した投資枠です。

成長投資枠 中長期の多様な投資ニーズに対応した投資枠です。

運用スタイル	こんな人におすすめ	投資上限額	購入方法	対象商品
つみたて投資枠のみ	じっくりコツコツ 資産形成したい	年間 120万円	つみたて投資	つみたて投資枠 対象ファンド
成長投資枠のみ	つみたてながら 一括購入も考えたい	年間 240万円	つみたて投資 または 一括投資	成長投資枠 対象ファンド
つみたて投資枠 成長投資枠 併用	非課税投資枠を 最大限活用したい	年間 360万円	つみたて投資 と 一括投資	各非課税投資枠の 対象ファンド

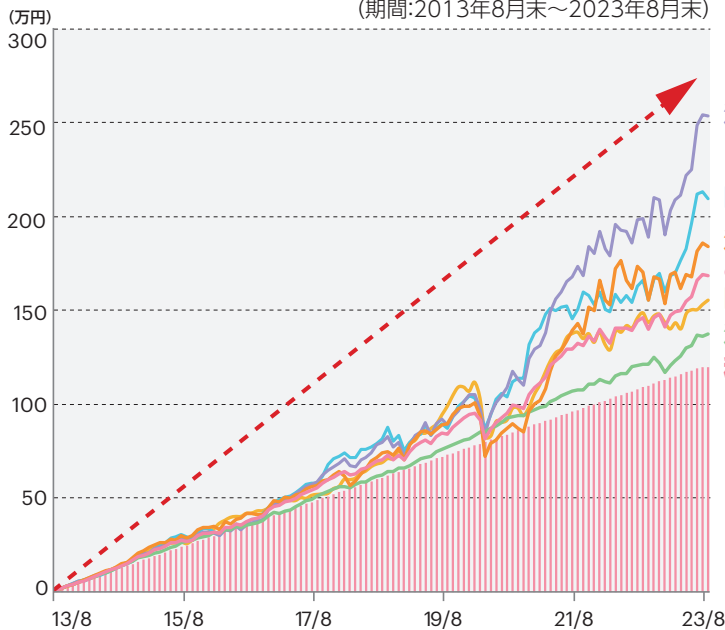


投資ってリスクが心配で
なかなか一歩が踏み出せない

まずは「つみたて」から始めてみましょう！

■長期投資が基本の「つみたて」なら、時間を味方につけることで、リスク低減効果が期待できます。

毎月1万円(最終月を除く)を約10年間積立投資した場合のシミュレーション
(期間:2013年8月末~2023年8月末)



一時的に損失が出た時期もありますが、長期的には
6つのシミュレーションはどれもプラスに転じています。

※指数について

- ・国内株式は日経平均株価(配当込み)
- ・海外株式はMSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)
- ・海外債券はFTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)
- ・国内リートは東証REIT指数(配当込み)
- ・海外リートはS&P先進国REITインデックス(除く日本、配当込み、円換算ベース)
- ・8資産均等は東証株価指数(TOPIX)(配当込み)、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)、NOMURA-BPI総合、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)、JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円換算ベース)、東証REIT指数(配当込み)、S&P先進国REITインデックス(除く日本、配当込み、円換算ベース)を12.5%ずつ組み合わせた合成指数。月次リバランス。

※過去のデータに基づくシミュレーションであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

※左の図は実際のファンドの運用成果ではなく、各資産クラスのインデックスで代替したシミュレーションです。実際の「投信つみたて」の各ファンドの運用成果とは異なります。また、費用・税金等は考慮していません。

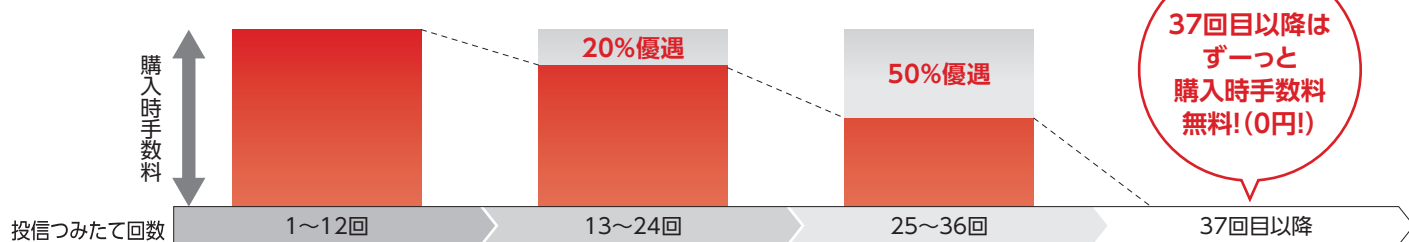
【出典】Bloombergのデータを基に三菱UFJ銀行にて作成

・本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。

■三菱UFJ銀行の投信つみたては、長く続けるほどおトクに！

購入時手数料の段階優遇サービス

投信つみたてを長く続けていただいたお客さまには、段階的に購入時手数料を優遇するサービスをご用意しています。購入時手数料が有料のファンドについて、投信つみたて回数の累計が37回目以降(最短で3年経過後)は、**購入時手数料が0円**となります。(購入時手数料無料ファンドは対象外)



※2017年12月以前に契約された投信つみたてを含め、2018年1月から投信つみたて回数のカウントを開始します。※投信つみたて回数は契約ごとにカウントし、複数の契約がある場合も合算は行いません。※残高不足等で引き落としされなかった場合、カウントは停止しますが、次回引き落とし時には再開されます。※投信つみたて契約を解約した場合は投信つみたて回数は0に戻り、その後再契約した場合は1回目からのカウントとなります。

■インターネットバンキング(三菱UFJダイレクト)でカンタン・便利にお取引！

少額からOK!

つみたてなら**毎月1,000円**から!
振替日も自由に決められます。
※Eco通知(インターネット通知)をご利用の場合。

充実のラインアップ

購入時手数料0円の
インターネット専用ファンドも多数!
※つみたて投資枠対象ファンドは全て購入時手数料が無料です。

いつでもどこでも

24時間365日自宅でも
外出先からでもお取引可能!
※システムメンテナンス時等を除く。

NISA(つみたて投資枠・成長投資枠)はいずれもつみたてでの購入が可能です！



本資料は、三菱UFJ銀行の投資信託口座を通じた「投信つみたて(継続購入プラン)」の取り扱いを記載しています。三菱UFJモルガン・スタンレー証券の金融商品仲介(以下、金融商品仲介)口座の「投信積立」とは商品・サービス内容・手数料等に違いがありますので、詳細は当行ホームページをご確認ください。

つみたて投資枠対象ファンドのご紹介

全て購入時手数料無料。運用管理費用も安く、長期投資に適した低コストの株式投資信託をご用意しています。

店頭取扱ファンド(インターネットでも購入可)

ファンド群	投資対象	ファンド名	ファンドの目的
インデックス	バランス	つみたて8資産均等バランス	新興国を含む国内外の株式・債券および国内外のREITの値動きに連動する投資成果をめざします。
インデックス		つみたて4資産均等バランス	国内外の株式・債券の値動きに連動する投資成果をめざします。
インデックス	国内株式	つみたて日本株式(日経平均)	日経平均株価に連動する投資成果をめざして運用を行います。
インデックス		つみたて日本株式(TOPIX)	東証株価指数(TOPIX)に連動する投資成果をめざして運用します。
アクティブ	内外株式	ひふみプラス	市場価値が割安と考えられる国内外の株式を選別して長期投資します。
インデックス	海外株式	つみたて先進国株式	MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
インデックス		つみたて新興国株式	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
インデックス		つみたて米国株式(S&P500)	S&P500指数(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

インターネット専用ファンド

ファンド群	投資対象	ファンド名	ファンドの目的
インデックス	バランス	野村6資産均等バランス	国内外の株式・債券および国内外のREITの値動きに連動する投資成果をめざします。
インデックス		eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	新興国を含む国内外の株式・債券および国内外のREITの値動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
アクティブ		HSBCワールド・セレクション(成長コース)	世界の様々な資産(株式、債券等)に分散投資を行い、目標リスク水準に応じてポートフォリオを構築します。
アクティブ	国内株式	年金積立Jグロース	成長性が高く、株主への利益還元が期待できる株式に投資を行います。
インデックス		iFree JPX日経400インデックス	JPX日経インデックス400に連動する投資成果をめざして運用を行います。
インデックス		eMAXIS Slim 国内株式(日経平均)	日経平均株価(日経225)(配当込み)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
インデックス	内外株式	eMAXIS Slim 国内株式(TOPIX)	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
インデックス		eMAXIS Slim 全世界株式(3地域均等型)	日本を含む先進国および新興国の株式市場の値動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
インデックス		eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行います。
アクティブ	海外株式	キャピタル世界株式ファンド(DC年金つみたて専用)	主として世界各国の証券取引所等で取引されている株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
アクティブ		フィデリティ・欧州株・ファンド(*)	利益成長性等と比較し、株価水準が妥当と思われる欧州企業に投資します。
インデックス		eMAXIS Slim 全世界株式(除く日本)	MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(除く日本、配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行います。
インデックス	海外株式	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	S&P500指数(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行います。
インデックス		eMAXIS Slim 先進国株式インデックス	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
インデックス		eMAXIS Slim 新興国株式インデックス	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
アクティブ		iTrustインド株式	主に中長期的に成長が期待できるインド企業の株式に投資します。

(*)金融商品仲介での取り扱いはありません。※上記以外にもつみたて投資枠で取り扱うファンドを追加する可能性があります。※商品性が同種(連動する投資成果をめざす対象指数が同一)のファンド間で、運用管理費用(信託報酬)が異なる場合があります。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

インデックスファンド 日経平均株価やTOPIX等の株価指数に連動する投資成果をめざすファンド群。

アクティブファンド ファンドマネージャーが調査・分析を行い、ベンチマーク(市場平均)を上回る投資効果をめざすファンド群。

! 投資信託は、金利・為替・株式等の値動きにより価格が変動しますので、お受取金額が投資元本を下回る場合があります。また、商品によりリスクおよび手数料が異なりますので、各ファンドの目論見書にてご確認ください。くわしくはP.6をご覧ください。

投信つみたてにおススメの 成長投資枠対象ファンドのご紹介

成長投資枠対象ファンドは、投資対象、投資手法の異なる多彩なラインアップの中からお選びいただけます。以下に、購入可能ファンドの一例を紹介いたします。成長投資枠以外にも、特定口座・一般口座でも購入可能ですが、つみたて投資枠は対象外です。

バランス型：株式・債券・リート等、複数資産への分散投資で安定的に運用

① MUFGウェルス・インサイト・ファンド(保守型／標準型／積極型)

日本を含む世界各国の株式・債券・REIT等を主要投資対象とし、グローバル市場についての長期および短期見通しに関する分析をふまえ、分散投資を行います。お客様のリスク許容度に応じて、目標リスク水準の異なる3つのファンド(保守型)(標準型)(積極型)から選択できます。

国内株式：日本経済の成長に期待

② One国内株オープン(愛称:自由演技)

日本の上場株式に投資を行い、マクロの投資環境の変化に応じて、その時々で最適と判断される投資スタイルで運用を行います。

海外株式：海外企業の成長性に注目。円安時の為替差益にも期待^(*) (*)為替ヘッジなしの場合。

③ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり・なし)

世界各国の株式のうち、プレミアム企業^(*)の株式に投資を行います。

(*)高いブランド力、有力な特許、強固な販売網等、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。

④ フィデリティ・世界割安成長株投信A/B(為替ヘッジあり・なし)(愛称:テンバガー・ハンター)

主として世界(日本を含む)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含む)している企業の株式に投資を行います。企業の長期的な成長力と株価の割安度に着目し、企業の本源的価値を見極める運用をめざします。

⑤ アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信A/B(為替ヘッジあり・なし)

主として成長の可能性が高いと判断される米国株式に投資します。

⑥ イーストスプリング・インド消費関連ファンド

インドの金融商品取引所に上場している消費関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長をめざした運用を行います。

海外債券：海外の高利回り債券に注目。円安時の為替差益にも期待^(*) (*)為替ヘッジなしの場合。

⑦ フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(資産成長型)D(為替ヘッジなし)

米ドル建て高利回り事業債を中心に分散投資を行い、高水準の利息等の収入を確保するとともに、値上り益の追求をめざします。

国内リート：日本の不動産投資信託に投資。中長期的な値上がり益を追求

⑧ 野村Jリートファンド

日本の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含む)されている不動産投資信託(J-REIT)を実質的な主要投資対象とします。流動性、収益性・成長性等を勘案して選定した(J-REIT)に分散投資を行います。

海外リート：海外の不動産投資信託に投資。円安時の為替差益にも期待^(*) (*)為替ヘッジなしの場合。

⑨ フィデリティ・USリート・ファンド(資産成長型) C/D(為替ヘッジあり・なし)

主として、米国の取引所に上場(これに準ずるものを含む)されている不動産投資信託(リート)に投資を行い、配当等収益の確保を図るとともに、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。

※投資信託の「普通分配金」は、利益として課税対象となります。一般に「つみたて」の場合、分配金は原則再投資されるため、課税分だけ運用効率が悪化することになります。したがって、分配金が頻繁に支払われる毎月決算(毎月分配)型ファンドは、分配頻度が少ないファンドにくらべて「つみたて」による長期投資のメリットが得られにくいと考えられます。そのため毎月分配型ファンドはご紹介ファンドから除外しています。

⚠ 投資信託は、金利・為替・株式等の値動きにより価格が変動しますので、お受取金額が投資元本を下回る場合があります。また、商品によりリスクおよび手数料が異なりますので、各ファンドの目論見書にてご確認ください。くわしくはP.6をご覧ください。

<三菱UFJ銀行での累積投資契約の取り扱いについて>

- 累積投資契約の申込みは、三菱UFJ銀行の投資信託口座のほか、金融商品仲介口座でも取り扱いがあります。
- 三菱UFJ銀行の「投信つみたて」と金融商品仲介口座の「仲介積立」では取り扱い内容に差分があります。

【主な取り扱い内容の差分】

お取引口座	三菱UFJ銀行の投資信託口座	三菱UFJモルガン・スタンレー証券の金融商品仲介口座
購入代金引落日	10日、20日、25日、月末日から選択 ※三菱UFJダイレクト(インターネットバンキング)をご利用の場合、任意の日付を選択可能	毎月12日
購入日	引落日と同日に購入	引落日から起算して7営業日目に購入
購入時手数料	つみたて回数による割引あり (13回目~20%優遇、25回目~50%優遇、37回目~100%優遇)	店頭で購入時手数料から30%優遇



※その他にも差分があります。くわしくは、窓口またはホームページをご確認ください。▶

NISA制度をご利用いただくにあたっての注意事項

- 当行でNISA口座を開設するには、投資信託口座が必要です。■NISA制度では、すべての金融機関を通じて1人につき1口座しか開設することはできません(金融機関の変更を行った場合を除く)。■NISA口座は、店頭でお申し込みの場合、原則として、お申込日当日(お申し込みが休日の場合または当行所定の時刻までに受付手続が完了しなかった場合は翌営業日)、三菱UFJダイレクト(インターネットバンキング)の場合、最短でお申込日当日に開設します(*)。NISA口座では、開設と同じ日またはそれ以降に投資信託を購入することが可能です。口座開設後に行う税務署審査の結果、二重口座であったことが判明した場合、NISA口座で購入した投資信託は当初から課税口座で購入したものと取り扱います。当該投資信託から生じる配当所得および譲渡所得等については、遡及して課税されます。
- NISA口座は、開設後、税務署の審査が完了するまで金融機関の変更および廃止はできません。■NISA口座での損失は税制上ないものとされます。
- NISA制度では、年間の非課税投資枠(つみたて投資枠は年間120万円、成長投資枠は年間240万円)と非課税保有上限額(総枠)(つみたて投資枠・成長投資枠あわせて1,800万円、うち成長投資枠1,200万円)の範囲内で購入した上場株式等の商品から生じる配当所得および譲渡所得等が非課税となります。
- 上場株式等の配当等はNISA口座を開設する金融機関等経由で交付されないものは非課税となりません。■基準経過日において、NISA口座を開設しているお客さまの氏名・住所を、所定の方法で確認します。■当行のNISA(つみたて投資枠・成長投資枠)では、株式投資信託のみを取り扱っております。■つみたて投資枠での購入は、つみたて契約(投資信託継続購入プラン)に基づく、定期かつ継続的な方法により行うことができます。■つみたて投資枠の対象商品は、長期のつみたて・分散投資に適した一定の投資信託に限られます。■つみたて投資枠に係るつみたて契約(投資信託継続購入プラン)により購入した投資信託の信託報酬等の概算値を、原則として年1回通知します。■成長投資枠の対象商品は、NISA制度の目的(安定的な資産形成)に適した一定の投資信託に限られます。
- (*)当行または他金融機関で、2018年以降のNISA口座の開設をお申し込み(2017年以前のNISAが継続した場合を含みます)されたことがある場合、当該口座は、税務署の審査が承認となり、当行所定の手続きが完了した後に開設されます(通常、お申し込みから2~3週間程度で手続きは完了します)。

投資信託をお申し込みの際は、次の点にご注意ください。

- 投資信託は預金ではなく、当行が元本を保証する商品ではありません。■投資信託の基準価額は、組入れ有価証券(株式・債券等)等の値動きにより変動しますので、お受取金額が投資元本を下回る場合があります。■組入れ有価証券(株式・債券等)等は、株式指標・金利・その有価証券等の発行者の信用状態の変化等や、取引が十分な流動性の下で行えない(流動性リスク)等を原因とした値動きにより変動します。■外貨建て資産に投資するものは、この他に通貨の価格変動(為替変動リスク)により基準価額が変動しますので、お受取金額が投資元本を下回る場合があります。■外貨建ての投資信託の場合、純資産価格も外貨建てで表示されているため、外貨建てで元本を上回っていても外国為替相場の変動により、純資産価格の円貨換算が円による投資金額を下回る場合があります。■投資信託の代表的な手数料等は以下の通りです。これらの手数料等はファンド・購入金額等により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各ファンドの手数料等の詳細は契約締結前交付書面(目論見書および目論見書補完書面)・販売用資料等でご確認ください。(1)購入時:購入時手数料がかかるファンドがあります。購入時手数料には消費税がかかります。(2)運用期間中:運用管理費用(信託報酬・管理報酬等)が日々信託財産から差し引かれます。また、その他監査報酬・有価証券売買時の売買委託手数料・組入れ資産の保管費用等の諸費用等が差し引かれます。(3)換金時:信託財産留保額・換金手数料がかかるファンドがあります。また、外貨に両替して購入・換金するファンドには所定の為替手数料がかかります。購入時の適用為替相場と換金時の適用為替相場には差があるため、為替相場に変動がない場合でも、換金時の円貨額が購入時の円貨額を下回る場合があります。■投資信託は預金保険制度の対象ではありません。また、当行で取り扱う投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。ただし、金融商品仲介で取り扱う投資信託は投資者保護基金の対象となります。■投資信託のお取引の有無が、現在または将来の融資その他の取引に不利な影響を与えることはありません。■当行はご購入・換金のお申し込みについて取り扱いを行っております。投資信託の設定・運用は各運用会社が行います。■当行では、店頭・インターネット等のお申込方法によって、取扱商品が異なります。同じ商品であっても、お申込方法によって、手数料等が異なる場合があります。■投資信託の運用による利益および損失は、投資信託をご購入いただきましたお客さまに帰属します。■当資料は当行が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■投資信託のご購入に際しては、必ず最新の契約締結前交付書面(目論見書および目論見書補完書面)により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。ファンドによっては一定期間は換金手数料のかかるものや、信託期間中に換金ができないもの、特定日にしか換金の申し込みができないものがあります。■投資信託は長期投資に適した商品です。また上記の手数料等がかかることから、短期間に売買を繰り返すと、一般的にはお受取金額が投資元本を下回る可能性が高くなります。■個人のお客さまの場合、原則として成年のご本人さまによるお取引とさせていただきます。未成年のお客さまのお取引は、原則、親権者さまとのお取引に限らせていただきます(金融商品仲介は除く)。くわしくは窓口へお問い合わせください。■契約締結前交付書面(目論見書および目論見書補完書面)は、当行の本・支店等の投資信託販売窓口にてご用意しております(インターネットバンキング専用ファンドについては、インターネットによる電子交付となります)。■一部ご利用いただけない店舗があります。

金融商品仲介(委託金融商品取引業者:三菱UFJモルガン・スタンレー証券)で取り扱った投資信託をお申し込みの際は、次の点にご注意ください。

- 当行は三菱UFJモルガン・スタンレー証券とは別法人であり、金融商品仲介のご利用にあたっては、三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券総合口座の開設が必要です。口座開設のお手続きは当行の窓口にて承ります(お取引口座は三菱UFJモルガン・スタンレー証券に開設されます)。■当行が登録金融機関としてご案内する金融商品仲介の投資信託は、三菱UFJモルガン・スタンレー証券によるものであり、当行が提供するものではありません。■ご購入いただいた有価証券等は、三菱UFJモルガン・スタンレー証券に開設された口座でお預かりのうえ、三菱UFJモルガン・スタンレー証券の資産とは別立て保管されます。■当行において金融商品仲介のお取引をされるか否かが、お客さまと当行の預金、融資等のお取引に影響を与えることはありません。また、当行での預金、融資等のお取引内容が金融商品仲介のお取引に影響を与えることはありません。■一部ご利用いただけない店舗があります。

株式会社 三菱UFJ銀行 [登録金融機関] 関東財務局長(登金)第5号

[加入協会] 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

[委託金融商品取引業者] 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 [金融商品取引業者] 関東財務局長(金商)第2336号

[加入協会] 日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

[当行の苦情処理措置および紛争解決措置] 一般社団法人 全国銀行協会または特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センターを利用

全国銀行協会相談室 0570-017109、03-5252-3772 月~金曜日9:00~17:00(祝日・12/31~1/3等を除く)

証券・金融商品あっせん相談センター 0120-64-5005 月~金曜日9:00~17:00(祝日・12/31~1/3等を除く)

三菱UFJ銀行コールセンター〔運用商品(保険を除く)〕

0120-860-777

9:00 ~ 18:00 (くわしい利用日時は以下URLのホームページをご覧ください)

https://www.bk.mufg.jp/faq/ivr.html

投資信託

3・12

くわしい利用日時はこちら

<https://www.bk.mufg.jp>

2024年3月29日現在(No.03057)